

第78回 公開講座 労働者として、生活者として、ひととして、 外国人をどう受け入れるべきか？ ～リベラルアーツ・カレッジの知恵～

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋德行）は、本学の教授による第78回公開講座「労働者として、生活者として、ひととして、外国人をどう受け入れるべきか？～リベラルアーツ・カレッジの知恵～」を4日に渡って開催します。第1回では経済学部の神林 龍教授、第2回では社会学部の人見 泰弘教授、第3回では国際教養学部的小林・ハッサル 柔子教授、第4回では社会学部のアンジェロ・イシ教授が登壇します。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください。

講座概要

会場：武蔵大学 1号館1階1101教室 ※オンライン受講はございません。

日時：[全4回] 13:30～15:30

【第1回】3月6日（木） 外国人材の現在と未来：新データからわかる生活と労働

講師：神林 龍〈経済学部教授〉

【第2回】3月7日（金） ミャンマー（ビルマ）からの人の越境移動～労働移民・難民・海外ディアスポラ

講師：人見 泰弘〈社会学部教授〉

【第3回】3月10日（月） 災害と在留外国人：災害時に彼らの命をどう守るのか

講師：小林・ハッサル 柔子〈国際教養学部教授〉

【第4回】3月11日（火） 在日ブラジル人の“デカセギ移民35年史”：移住経験の多様な意味づけ

講師：アンジェロ・イシ〈社会学部教授〉

■お申込み

定員：250名（先着順）

参加費：[全4回分]

2,000円（一般）、500円（武蔵大学在学学生父母、武蔵学園卒業生）、

無料（高校生、在学生*）

*在学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、研修生、練馬区特別履修生を指します。

申込方法：2025年2月26日（水）まで

【PC専用申し込みサイトよりお申し込み】

<https://web.634.co.jp/>

【FAX、メール、郵送によりお申し込み】次の①～⑥を明記のうえ、下記アドレス・住所に送信（郵送）してください。

①第78回公開講座「労働者として、生活者として、ひととして、外国人をどう受け入れるべきか？」

②氏名（フリガナ） ③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤FAX番号（ある方）

⑥申込区分（一般、本学在学学生父母、本学園卒業生、本学在学生、高校生）

申込先・お問合せ：[武蔵エンタープライズ] <https://web.634.co.jp/>

E-Mail：direct@634.co.jp

Tel：03-5984-3785 Fax：03-5984-3787



—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部 担当：増田・五月女（ますだ・そとめ）
TEL：03-5984-3813 E-mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■ 武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2012年には、外国語や異文化を楽しみながら学ぶことのできる国際村 Musashi Communication Village（通称 MCV）を開設、キャンパス内留学の拠点とした。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開設し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

学長 高橋 徳行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

